平成28年度(2016年度)

管理事業名	勤労者会館事業				総合計画の体系	第7章 第2節	活力あふれにぎわいのあるまちづくり 就労を支援する環境づくり		
主な歳出予算科目	一般会計	(款)	5	労働費	(項)	1	労働諸費	(目)	2	勤労者会館費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	地域経済振興室							

予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名
施設管理事業	

事業の目的と概要

指定管理者制度を導入し、勤労者の福祉の増進と雇用の安定に資することを目的とする施設の管理運営を行うとともに、勤労者の文化教養の向上や余暇活動の充実のために必要な情報提供、知識・技能を習得するための各講座・事業等を実施しています。

Ⅰ 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果指標の定義
施設利用者数	人	144,404	134,307	136,815	集会施設及びプールの利用者数
施設利用率	%	69.4	67.7	68.6	集会施設の利用率

成果の説明

施設利用者数の集会施設、プール利用者数のそれぞれで前年より上回っており、施設利用率についても前年度を上回っています。

Ⅱ 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目		平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
経常収入	地方税	-	-	-	-
	分担金及び負担金	-	-	-	-
	使用料及び手数料	21,203	20,108	20,085	△22
	国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
	府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
	財産収入	-	-	-	-
	寄附金	-	-	-	-
	他会計からの繰入金	-	-	-	-
	受取利息及び配当金	-	-	-	-
	その他	674	655	80	△575
	経常収入 小計 (a)	21,877	20,762	20,165	△598
経常費用	給与関係費	5,804	5,802	5,710	△92
	物件費	**93,199**	**94,018**	**95,403**	**1,385**
	維持補修費	**3,032**	**4,207**	-	**△4,207**
	社会保障扶助費	-	-	-	-
	負担金・補助金・交付金等	3	2	4	2
	特別会計への繰出金	-	-	-	-
	減価償却費	**17,476**	**17,476**	**17,476**	-
	徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
	賞与引当金繰入額	474	486	494	8
	退職手当引当金繰入額	352	374	399	25
	支払利息	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	経常費用 小計 (b)	120,340	122,366	119,487	△2,879
経常収支差額 (a)-(b)=(c)		△98,463	△101,604	△99,322	2,282
特別収入	固定資産売却益	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	特別収入 小計 (d)	-	-	-	-
特別費用	固定資産除売却損	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	特別支出 小計 (e)	-	-	-	-
特別収支差額 (d)-(e)=(f)		-	-	-	-
一般財源調整額 (g)		-	-	-	-
当期収支差額 (c)+(f)+(g)		△98,463	△101,604	△99,322	2,282
一般財源充当額		81,184	84,387	81,964	△2,423
一般会計からの繰入金		-	-	-	-
一般会計への繰出金		-	-	-	-
再計		△17,280	△17,216	△17,358	△142

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	指定管理委託料 93,983千円
維持補修費	建物等修繕に係る経費
減価償却費	勤労者会館建物分

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	**21,877**	**20,762**	**20,165**	**△598**
行政サービス活動支出	103,061	105,150	102,129	△3,021
行政サービス活動収支差額	△81,184	△84,387	△81,964	2,423
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△81,184	△84,387	△81,964	2,423
一般財源充当額	81,184	84,387	81,964	△2,423
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入) 会議室研修室使用料 11,395千円 プール使用料 8,690千円

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
施設利用者1人あたりコスト	平成26年度	144,404 人	833 円	勤労者会館利用者1人あたり 873円のコストがかかっています。
	平成27年度	134,307 人	911 円	
	平成28年度	136,815 人	873 円	
開館1日あたりコスト	平成26年度	308 日	390,714 円	勤労者会館1日あたり 391,761円のコストがかかっています。
	平成27年度	308 日	397,292 円	
	平成28年度	305 日	391,761 円	

◆貸借対照表

（単位：千円）

勘定科目			平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目		平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金		-	-	-	流動負債		486	494	8
	未収金		-	-	-		地方債	-	-	-
	財政調整基金		-	-	-		短期借入金	-	-	-
	短期貸付金		-	-	-		賞与引当金	486	494	8
	徴収不能引当金		-	-	-		未払金	-	-	-
	その他流動資産		-	-	-		リース債務	-	-	-
固定資産	事業用資産	有形固定資産	416,978	399,502	△17,476		その他流動負債	-	-	-
		土地	53,936	53,936	-	固定負債		5,717	5,591	△126
		建物・工作物	363,042	345,566	△17,476		地方債	-	-	-
		リース資産	-	-	-		長期借入金	-	-	-
		建設仮勘定	-	-	-		退職手当引当金	5,717	5,591	△126
		無形固定資産	-	-	-		リース債務	-	-	-
	インフラ資産	有形固定資産	-	-	-		その他固定負債	-	-	-
		土地	-	-	-	負債の部合計		6,203	6,085	△118
		建物・工作物	-	-	-					
		建設仮勘定	-	-	-	純資産		410,775	393,417	△17,358
	重要物品		-	-	-					
	図書館資料		-	-	-					
	投資その他の資産		-	-	-					
		出資金	-	-	-					
		長期貸付金	-	-	-					
		基金	-	-	-					
		徴収不能引当金	-	-	-	純資産の部合計		410,775	393,417	△17,358
		その他債権	-	-	-					
資産の部合計			416,978	399,502	△17,476	負債及び純資産の部合計		416,978	399,502	△17,476

Ⅲ 財務構造分析

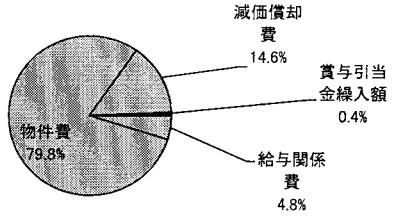
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	
事業従事人数	月平均 0.8 人	月平均 0 人	年間従事延日数 0 日	実人数 0 人	
給与関係費等	6,604 千円	0 千円	0 千円	0 千円	合計(千円) 6,604
内、時間外勤務手当	0 千円				

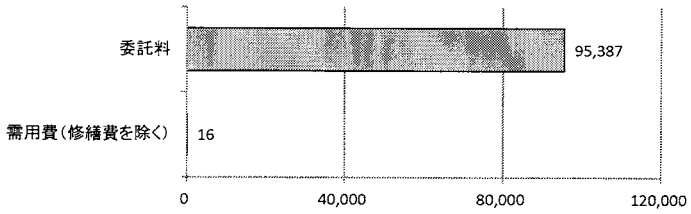
貸借対照表の主な増減理由（特徴的な事項）

勘定科目	増減理由
建物・工作物	勤労者会館（建物）減価償却による減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳（単位：千円）



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立勤労者会館
取得年月日	昭和60年6月1日
建物・工作物の取得価額	873,790 千円
建物・工作物の減価償却累計額	528,224 千円
利用料金収入	20,085 千円

▽分析指標

（単位：%）

分析指標 ＼ 年度	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率	0.3	0.5	-	△ 0.5
施設老朽化比率	56.5	58.5	60.5	2.0
受益者負担比率	17.6	16.4	16.8	0.4
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	78.8	80.3	80.3	0.0
経常費用対公共資産比率	13.8	14.0	13.7	△ 0.3

【参考：市保有施設全体の老朽化比率は53.9%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

コスト全体の約80%を物件費が占め、その全体は指定管理委託料が占めています。また減価償却費がコスト全体の14%以上を占めています。
老朽化比率は60.5%で、市保有施設全体の老朽化比率53.9%と比較しましたら、6.6ポイント老朽化が進行している施設です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

指定管理者制度の効率的な運用及び受益者負担の適正化を更に推し進めていくことにより、負担すべきトータルコストの適正な管理に努めることが重要であると考えています。
他の市保有施設と同程度に勤労者会館の老朽化は進んでおり、今後は公共施設最適化の動向を踏まえながら必要な更新・維持補修の財源確保を行い、施設の維持補修を実施することで、施設の長寿命化を図る必要があると認識しています。